

透析機関附設特別養護老人ホーム入居者・家族の透析導入に関する

意識についての追跡調査

社会福祉法人照善会 こくら庵

○鳥辺なずな、酒匂智和子、小島千佳子、蔵本富美子、小森優也、小松利恵子、
船越 哲、原田孝司

【背景】

当施設は、透析専門病院に附設して開設した特別養護老人ホームであり、入居者の平均年齢は 80.5 歳、透析患者が 9 割である。

【目的】

入居者のご家族に質問紙調査を行い、透析導入時と現在の生活についての意識調査を行う。また 1 年前との意識の変化についても調査する。

【方法】

入居者 24 名は聞き取り調査、家族 24 名は記入式とした。

【結果】

導入時の医療者からの説明について、家族はほぼ理解していたが、入居者は約 70%が理解していなかった。透析治療について入居者の約 50%が辛さや拘束感を感じていた。看取りの場は、家族・入居者とも約 50%（昨年度は約 40%）が施設を希望していた。

【考察】

透析導入時の説明は、未だ入居者の多くに十分な理解が得られていなかったが、家族への看取りの質問については、昨年調査よりも場所が明確になっており、入居者の看取りについてより具体的に考えている事が窺えた。